

アジアの友

The Asia-no Tomo

No. 544

■日本語学校緊急アンケート調査 ～コロナ禍の影響を明らかにする～

■「日本語教育の社会的役割とウィズ・コロナ時代の対応」

山口 修 先生 京都文化日本語学校校長 （一財）日本語教育振興協会理事





ABKが運営する日本留学情報ポータルサイト「JAPAN STUDY SUPPORT」では、分かり難いコロナ禍における留学生の最新日本入国方法を8言語でご覧いただけます。ぜひご利用下さい。

<https://www.jpss.jp/ja/>

クリック！
click!

日本語

外国人留学生のための 新型コロナウイルス感染症対策下における 日本入国の方法

下記は2020年11月1日現在の情報です。
詳細は時期や状況によって異なりますので、必ず学校などの受け入れ機関に問い合わせてください。

韓国語

③출국 전 14일간 건강 모니터링



- 일본 입국 전 14일간 체온을 기록하여 주십시오.
- 발열(37.5℃ 이상) 또는 호흡기 이상, 권태감 등 코로나19 감염 증상이 있는 경우, 도항을 중지하여 주십시오.

インドネシア語

⑥Harus masuk asuransi kesehatan swasta



- Masuklah asuransi kesehatan swasta.
- Harap menyiapkan dokumen yang dapat membuktikan bahwa Anda memiliki asuransi kesehatan swasta.
- Jika Anda sudah memiliki asuransi kesehatan umum Jepang, asuransi kesehatan swasta bersifat opsional.

タイ語

① กวดลอกเอกสารแบบสอบถาม

- เอกสารมีชื่อว่า 『QUESTIONNAIRE』
- เอกสารนี้จะได้รับจากหน่วยงานใน กรุงเทพมหานคร ให้เขียนตอบ
- ในช่อง Contact Address in Japan ให้กรอกชื่อและที่อยู่จริงที่ตนกำลังไปศึกษา
- หากมีข้อสงสัย สอบถามกับพนักงานต้อนรับบนเครื่องบิน

英語

②Obtaining Student VISA



- At the Embassy of Japan or consulate in your country, please obtain a student visa.
- The documents required to apply for a student visa are as follows.

- 1) VISA application form with photo
- 2) Passport
- 3) Certificate of Eligibility
- 4) Admission permit
- 5) 2 copies of written pledge

Detailed explanation on the next page

The above documents are the minimum required documents. Please be sure to check with the embassy of Japan in your country.

簡体字

①提交信息提供同意书

- 文件名称
「信息提供同意书」
- 文件取得方法:
来自学校的邮件附带或由中介机构转交
- 资料交付机关:
学校等接收机关
- 提交理由:
下一页“②获取留学签证”中的“誓约书”, 根据2- (1) - ス決定

ベトナム語

Giấy chứng nhận tự cách lưu trú Giấy phép nhập học Giấy cam kết (bản photo)



Giấy cam kết này phải hiện cam kết với trường học (hoặc cơ quan tiếp nhận bạn) đối với chính phủ Nhật Bản và việc nắm bắt thông tin về những hoạt động của người nhập cảnh.
URL: <https://www.mof.go.jp/mof/ja/info/visajapan/100110013.pdf>

繁体字

③入境審査→領取行李



- 富有收到PCR检测報告結果後，請移動到海關處進行入境審查。
- 請安裝SNS 之「LINE」APP。
- 入境審查後，就可以領取行李。

アジアの友

2020年10-12月号 第544号

目次

	調査報告
2	日本語学校緊急アンケート調査 ～コロナ禍の影響を明らかにする～
	提言
9	「日本語教育の社会的役割とウィズ・コロナ時代の対応」 山口 修 先生 京都文化日本語学校校長 一般財団法人日本語教育振興協会理事
	新星学寮での生活
19	① 新星学寮の食事会について
	私の意見私の体験
22	「健康的留学生活はよく寝ることから」 周 瑞 ～中国 山西省
	コラム 泰日工業大学奮闘記
26	③⑧ 「国際プログラム 日本人学生にインタビュー」 水谷光一
	知友会通信 & MEMBERS
30	奨学金、就活イベント情報他

<表紙> 中国 山西省晋中市の世界遺産「平遥古城」
へいよう

日本語学校緊急アンケート調査

～コロナ禍の影響を明らかにする～

(公財) アジア学生文化協会 アジアの友編集部

昨年12月中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、本稿を書いている12月初旬現在、全世界で6千万人の感染者数、150万人の死者数となり、さらにその勢いを増しつつ受け止まる気配すら見せていない。日本でも第3波到来と言われ、連日、感染者数・死者数の記録が塗り替えられる状況が続いている。このコロナ禍により、世界各国で入国出国制限が掛けられ、国内外の人の移動が厳しく制限されることとなった。そのため人の移動を事業活動とする旅行、航空業界などは壊滅的な影響を受けている。同じように、国際的な人の移動を前提にその事業が行われてきた留学交流の世界も、大きな影響を受けることとなった。

当協会では、今般のコロナ禍の影響を正面から受けている日本語学校（法務省告示校日本語教育機関）における現状を調査するため、緊急アンケート調査を実施した。なお、日本語学校が加盟する6団体¹においても、数次にわたりコロナ禍に対する実態調査が行われているが、本調査では、大きく日本語学校における留学生数の増減を把

握し、集計結果をスピーディーに提示、公開することで直近の留学生動向を想定することを目的として実施したことを付記する。

1. アンケート調査の概要

・告示校の連絡先の把握、送付数、回答数、有効性

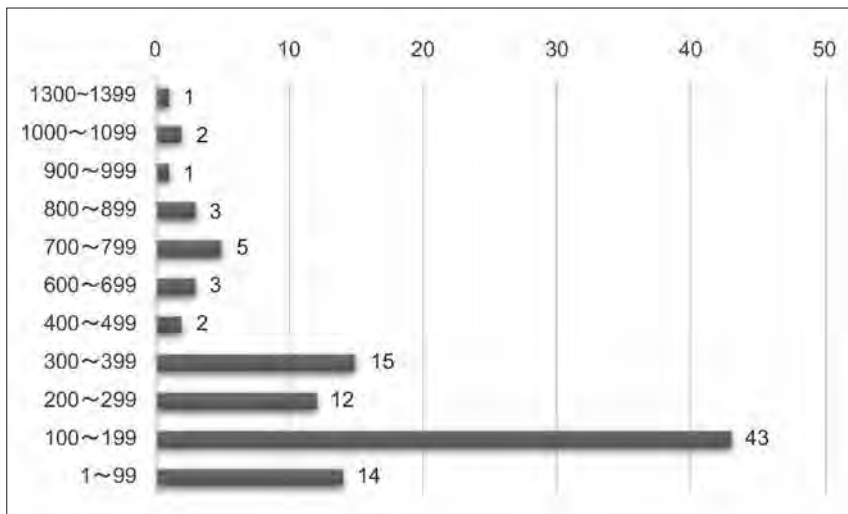
法務省の審査を受け告示された日本語教育機関は2019年12月末現在で774校あり、法務省のホームページで確認することができる。ただし同ホームページで記載されているのは教育機関の名称と所在地（都道府県）のみであり、住所、電話番号、

図表1 日本語教育施設所在地

所在地： (都道府県)	
東京都	41
大阪府	11
愛知県	9
京都府	6
千葉県	5
神奈川県	5
沖縄県	5
兵庫県	4
福岡県	2
埼玉県	2
広島県	2
岐阜県	2
奈良県	1
栃木県	1
長野県	1
静岡県	1
鹿児島県	1
熊本県	1
岡山県	1
合計	101

1 (一財) 日本語教育振興協会、(一社) 全国日本語学校連合会、(一社) 日本語学校ネットワーク、全国専門学校日本語教育協会、(一社) 全国各種学校日本語学校協会、(一社) 全日本学校法人日本語教育協議会

図表2 学生収容定員



メールアドレスなどの詳細は明示されていない。そこで当調査では株式会社語文研究社の了解を得て同社が調査公開している「日本語教育機関総覧 2019 年-2020 年」、および一般財団法人日本語教育振興協会会員校名簿よりメールアドレスが判明した 391 校を対象とした。11 月 17 日に調査票を各校のメールアドレスに送付し、回答期限を 2 週間後の 11 月 30 日までとした。期限日までの回答数は 101 で調査対象母集団 774 に対する回収率は 12.8%となった。同回収率は信頼レベル 90%での許容誤差が± 8%となることから、十分ではないにしろ統計的な有効性を認めることができる範囲に収めることができた。

・学校所在地域、規模、
設置コース（学習期間）

回答日本語教育機関の所在地は東京都、

大阪府の 2 都府で 52 校となり半数を超えている（図表 1）。学校の学生定員数は最大 1,380 名、最小 40 名、平均は 270 名であった（図表 2）。調査回答 101 校に、定員通りの学生が在籍しているとする、その総数は 27,300 名となる。本調査では、回答の簡便性を考え、各学校の学生定員を基準として各期の学生数割合を聞く方法を採用した。

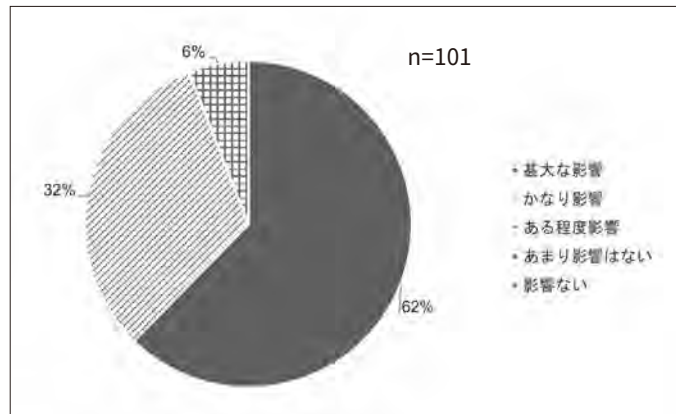
各日本語学校が設置しているコースの期間は 3 ヶ月から 2 年（最長在留期間）までであるが、ほとんどの学校が 1.5 年課程（83%）、2 年課程（92%）を採用し最長 2 年の過程を設置している。（図表 3）

「その他」とはサマーコースや留学ビザを必要としない短期滞在で参加できるコースなどであり、約半数の学校が告知基準外の設置をしていることが見て取れる。

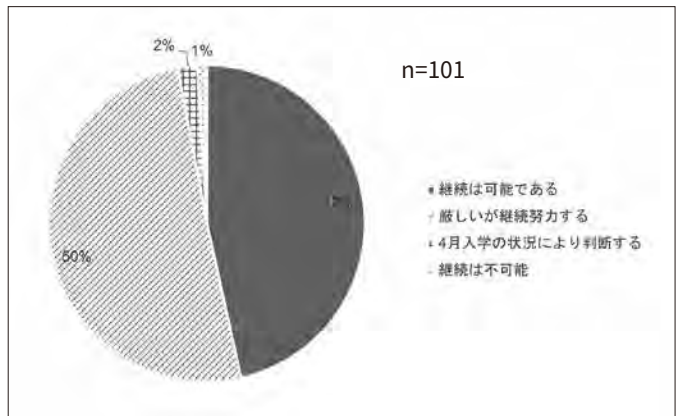
図表3 設置コース
【修業機関】(複数回答)

設置コース		
3カ月	8	7.9%
6カ月	4	4.0%
9カ月	3	3.0%
1年	45	44.6%
1.5年	84	83.2%
2年	93	92.1%
その他	49	48.5%

図表4 コロナ禍の影響



図表5 2021年以降の学校継続



2. 日本語学校における コロナ禍の影響

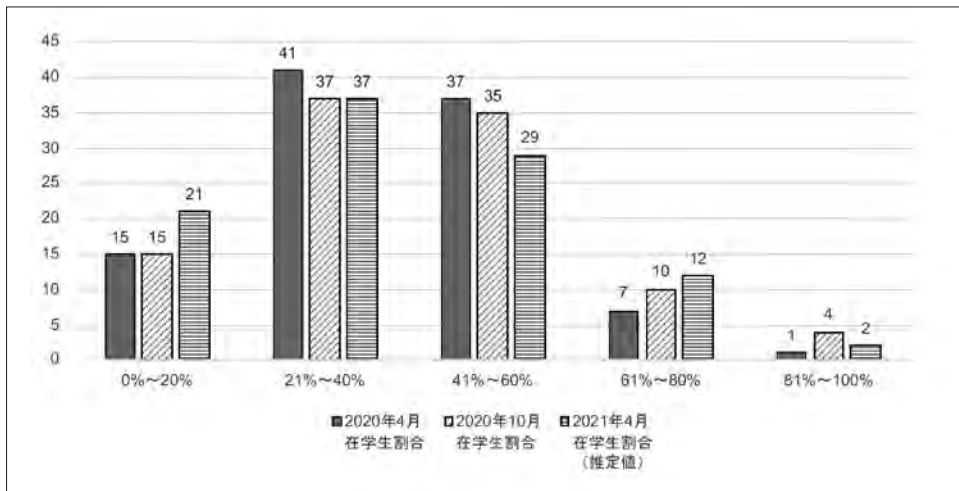
3月以降11月までのコロナ禍の影響について聞いたところ、当然のことながら94%が甚大な影響、かなりの影響を受けていると回答している。(図表4) 残りの6%も「ある程度の影響を受けている」とし、「あまり影響がない」「影響はない」としたところは0であった。

同時に、来年度以降の学校事業継続の可能性についても聞いたところ47%が「継続可能である」と回答、50%が「厳しいが継続努力をする」と回答している。その中で、2校が「来年4月の状況により判断する」とし、1校は「継続不可能」との回答だった。(図表5) 半数の学校は今年度を耐え忍び、来年度に望みをつなごうとする姿が見て取れよう。

3. 学生数の減少割合

本調査では学生定員に対する2020年4月期、10月期の学生在籍数および2021年4月の在籍学生数予測を20%ごと5段階(0-20%、21%-40%、41%-60%、61%-80%、81%-100%)で聞いた。その結果を示したものが図表6である。どの期も「21%～40%」の回答が最も多く、「41%～60%」が若干少なくなるが、この両方で70%を占める。

図表6 定員に対する在学学生割合 20年4月・10月・21年4月（推定値）



各段階の中間値で在学学生数を算出すると学生定員に対する在学学生割合は2020年4月で39.2%、10月で41.7%、来年4月は、各学校とも現在の募集状況を見ての推定値となるが38.1%とそれぞれ40%前後の学生数となっている。（図表7）一般的に

日本語学校は10月生の入学をもって学生定員を満たすことになるため、その在学学生数が定員の半数を割る状況は大変厳しいと判断される。

4. 2021年3月時点での 卒業生数の想定

先に概要で見たように、日本語学校は基本的に1.5年から2年のコースを設定しており、2021年3月に卒業する学生は2019年4月あるいは2019年10月に入学し、

図表7 定員に対する在学学生割合

n=27, 287 (101校の学生定員)

	在籍学生数	定員に対する 在学学生割合
2020年4月在籍学生数	10,706	39.2%
2020年10月在籍学生数	11,380	41.7%
2021年4月在籍学生数(推定)	10,401	38.1%

来春に2年目、1.5年目で卒業を迎える者である。そのため通常は在学生の約50%～70%程度が卒業し、あとの在学生は次年度1年の日本語教育を継続することとなる。上記3と同様に2021年3月時点における卒業生数について、学生定員に対する割合で聞いたところ、定員数の21%～40%が半数を占め、次に0%～20%が26校、41%～60%が20校であった。（図表8）

これをそれぞれの区分の中間値で集計すると、卒業学生数は定員の32.1%、8,770人となり、10月の在学学生数11,380人の

77%が卒業することとなる。
これは、2020年4月の入学者がほとんどいないことを想定すると、予測される数字とほぼ一致するものとなった。

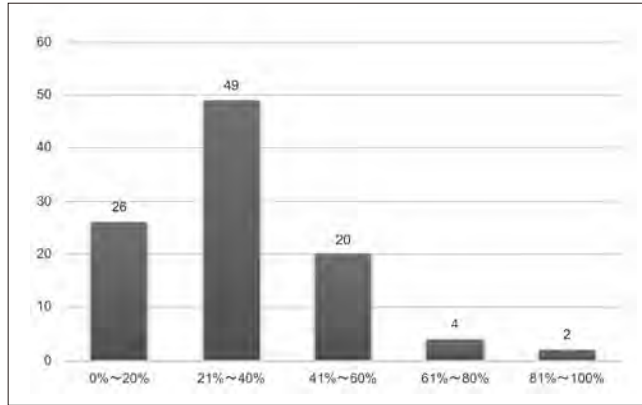
5. コロナ禍による Online 授業展開

日本語学校における2020年4月以降11月までのオンライン授業対応については、約8割の学校でオンライン授業が行われているという結果となった。(図表9)

オンライン授業を実施している学校の配信対象学生は、58校73%が「海外にいる入学予定の学生」に行っていると回答した。つまり、2020年4月入学、または10月入学だったがコロナで来日できない学生に向けたものである。(図表10)

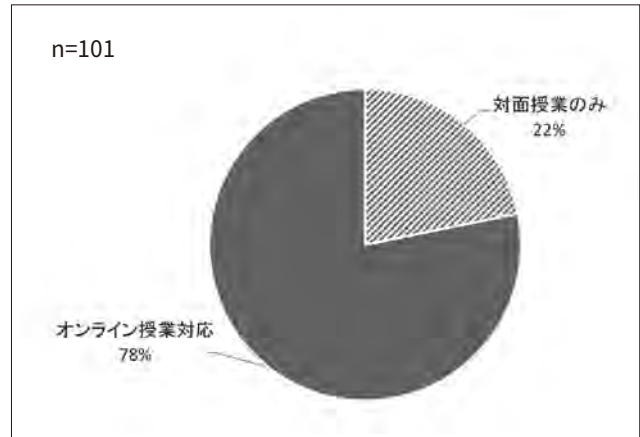
その他、一時帰国して再来日できなくなった学生に対するオンライン授業が35校(44%)、国内で対面授業とハイブリッドでオンライン授業を行っているところが33校(42%)となっている。地域や時期によってコロナの感染状況は異なっているので、一概に全体を俯瞰したコメントをすることはできないが、海外から来日する学生がストップした

図表8 2021年以降の学校継続



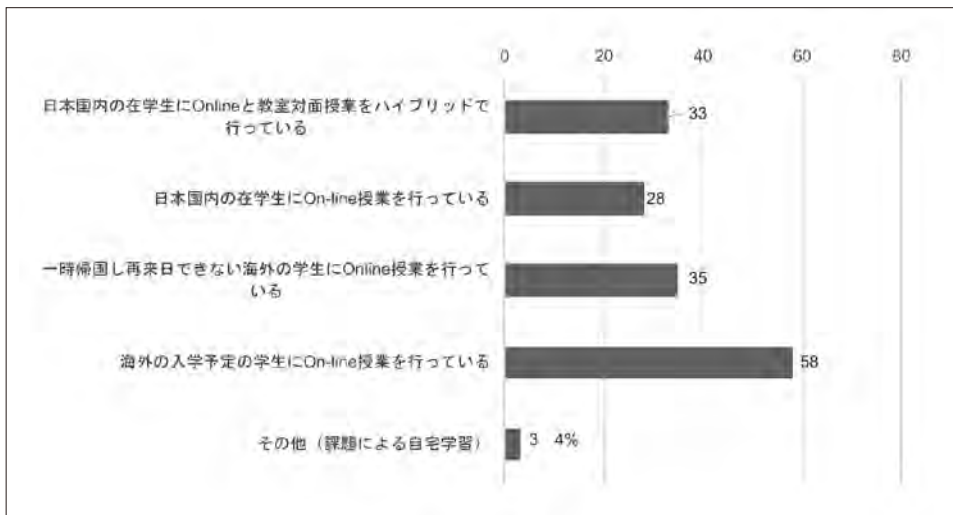
	卒業生数 (推定)	定員に対する 卒業生割合
2021年3月卒業生数	8,770	32.1%

図表9 オンライン授業対応



多くの日本語学校にとっては、有無を言わずオンライン授業対応は必要不可欠のものとなったと言えよう。ここで獲得された遠隔教育のノウハウは、渡日留学が前提となっていた国内日本語学校における教育の姿を、アフターコロナでは大きく変えることになることであろう。

図表 10 オンライン授業の目的・形態（複数回答）



6. 行政等への施策の要望

今回実施アンケート中唯一の記述部分として、行政等への要望事項を記載してもらった。回収サンプルの約60%がなんらかの記述回答をしており、その内容を分類すると図表11のようになった。「1. 学生支援」「2. 学校支援」は主として財政支援の要望である。「3. コロナ禍での入学手続き」では、調査時期がレジデンストラックで10月入学生が遅れて入国する時であり、厚労省などにより細かく指示された入国手続きに従って学生を受け入れることとなったため、それに対する改善要望が多くなったと考えられる。具体的には＜・入国時のPCR検査実施の継続及び陰性の場合の公共交通機関の利用許可＞＜・隔離措置14日間の施設及び移動手段の確保＞＜・交通利用、隔離期間の経済的支援＞＜・入国ルー

図表 11 行政等への要望

要望内容	件数
1 学生支援	6
2 学校支援	9
3 コロナ禍での入学手続き	20
4 在留・ビザ	15
5 留学生・日本語教育施策	7
6 政策全般	4

ルの緩和＞＜・省庁ごとの情報の整理、迅速な情報の伝達＞等が主なものとなっている。「レジデンストラック」での入国手続きについては www.jpss.jp Japan Study Support を参照)。

「4. 在留・ビザ」についてはコロナ禍に特化したものというより＜審査基準の明確化、簡素化＞など日本語学校に対するビザ政策への要望となっている。「5. 留学生・日本語教育施策」「6. 政策全般」では、外国人受入れ拡大での日本語学校の位置付け



やアルバイト時間の伸長の要望等が挙げられている。

7. 今後の日本語教育、留学交流は どうなるのか

昨年2019年には、留学生30万人計画の数字目標達成の一方で、日本語学校は労働目的と疑われる者の入国者が増加しているという批判から、すでに入管により特定の国・地域に対する在留資格認定証明書の発給が抑えられる傾向が顕著になっていた²。そこに加えて3月からのコロナ禍発生で日本語学校は4月入学予定の学生の来日がほとんど止まるという事態に直面した。本調査により日本語学校の学生数は定員の40%程度まで落ち込んでいる現実が明らかになったが、それでもコロナ禍前の2019年に入国、入学し来年4月で1.5年目、2年目を修了する留学生が在籍しているので、2021年春に大学、専門学校へ入学する留学生がゼロになることはないだろう。しかし、もし現在の状況が来年2021年前半まで続く

とすると、2020年4月、10月に続き来年2021年4月入学の日本語学校生の入学も見込めず、2022年度の留学生入試では日本語学校から大学、専門学校への進学者数は激減し壊滅的な状況となろう。もちろんこのことは日本語学校の問題というより、日本、アジア、世界における人的移動の可否がコロナ禍の拡大・終息次第（ワクチンの開発・普及次第？）で左右されるということであり、世界における留学交流が引き続き全面停止状態になる可能性も存在する。

一方、5節Online展開でも触れたように、教育分野におけるオンライン化、遠隔授業への移行は劇的に進行した観を呈している。どのような教育がオンラインで行え、効果的なのかなどの検証が行われ、さらに教授法や教育機材なども開発されることとなるであろう。逆に何のためにリアル授業が必要なのか、実際の対面授業でなければ得られない要素はなにか、そもそも留学の意義とはなんなのか、より具体的に本質が問われることとなり教育の価値が再定義されることになろう。

特定の分野のみならず社会全体の先が見通せない中、それぞれの現場で悲観シナリオから楽観シナリオまでSF小説を超えて現実対応を想定しなければならないが、その大きな揺れ幅を乗り越えて、次の世界の可能性を見据える忍耐力も必要とされている。（了）

2 日本経済新聞 2019年11月20日「来日の留学生6.9%減少」在留資格認定証明書発給率対前年比、ベトナム81%、ネパール、スリランカ35%と報道



日 本社会の少子化と労働力の減少が議論され、外国人労働者の導入が「特定技能」資格の新設という形で具体化する中、同時に外国人に対する日本語教育の整備についての議論も進められ、2019年6月21日「日本語教育の推進に関する法律」が成立した。同法律の規程に基づき「日本語教育推進関係者会議」が設置開催されている。本号において同関係者会議に委員として参加されている、山口修先生（一般財団法人日本語教育振興協会理事、京都文化日本語学校校長）に、同第2回会議で発表された「法務省告示日本語教育機関の役割」の内容を中心に、今般コロナ禍における日本語学校の状況と対応についても話を伺った。（編集部）

日本語学校の現状

日本語教育の社会的役割ということについて、お話をさせていただきますが、まず現在の日本語学校の現状について説明します。法務省告示日本語教育機関（以下、日本語学校）は令和元年12月末現在、774

機関あります。10年間で1.7倍、特にここ数年で急増しています（資料1）。急増に伴い問題も指摘されているところで、問題がある機関の存在によりすべての日本語教育機関が同一視されてしまうことがあるというのは、非常に残念に思っています。

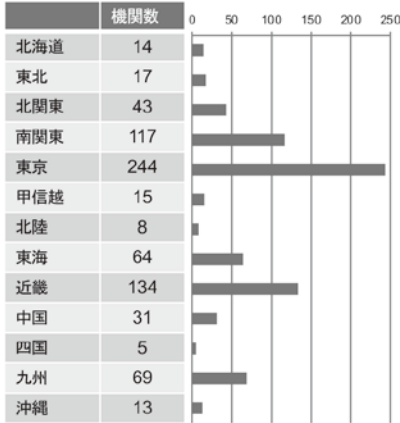
774機関を地域別に見ると、首都圏に集

法務省告示日本語教育機関数

(資料1)

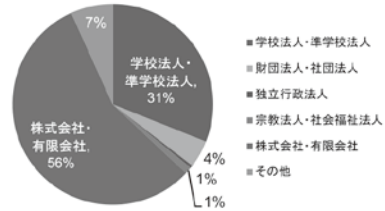
774機関

令和元年12月31日現在



設置者	機関数
学校法人・準学校法人	142
財団法人・社团法人	20
独立行政法人	2
宗教法人・社会福祉法人	5
株式会社・有限会社	257
その他	31
合計	457

対象:「平成29年度日本語教育機関における外国人留学生への教育の実施状況の公表について」(文部科学省)掲載された機関。(廃校等の機関を除く。)



中しておりおよそ半数です。設置者は多様ですが、教員や実施する教育は告示基準があるので、設置者による大きな差はありません。日本語学校は専門教育、専門的訓練を受けた教員を抱える最大の集団です(資料2)。文化庁の調査によれば、常勤教員は3,300人余り。非常勤が7,000人余りと、それぞれ国内日本語教育全体の6割近くを占めています。大学を除いた一般の施設・団体では、常勤・非常勤の合計13,975人のうちの1万人余、4分の3を占めています。学習者は国内の日本語学習者の39%

に当たる102,454人が日本語学校に在籍しています。(資料2)

JASSO¹⁾の調査では留学生30万人のうちの9万人、約30%を日本語学校が受け入れているとなっています。

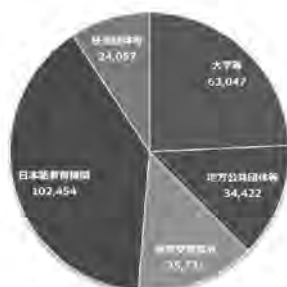
出身国・地域は東アジアと東南アジアが多数を占めていますが、多国籍化も進んでいます。日本語教育振興協会が行った調査では、107か国・地域から受け入れており、最近では30か国以上からの学生を受け入れている学校もさほど珍しくはなくなっています。

1. 独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization)

<https://www.jasso.go.jp/index.html>

日本語教育機関における留学生受入れ

(資料2)



国内の日本語学習者の39.4% (102,454人) が法務省告示日本語教育機関に在籍

専門教育・専門的訓練を受けた教員を抱える集団
＝専任3,319人 (62%)，非常勤7,096人 (55%)



国・地域別比率の推移



海外での募集活動が中心。現地で面接、試験を実施する機関も多数。

地域別では東アジア、東南アジアが中心。多国種化、非漢字圏が増加。
＊107が国・地域。(平成30年度日経連調査)

後期中等教育修了者に加え、高等教育修了者も増加。
(大学院進学、日本国内での就職希望)

受入れ時期は年2回、又は4回

留学生298,980人のうち90,079人、約30%を占める。
(JASSO 平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果)

授業は週5日、年間35週以上、1年あたり760時間以上でコースを設定し、教員数は学生20人につき1名以上、クラス定員は20人以下となっています。このクラス定員20人以下という設定は、表現活動を伴う語学教育を行うためには適切であると私どもは考えています。しかしながら経営的にはかなり困難で、教員の処遇改善のために公的補助を求める声も少なくありません。

日本語学校では、学習経験や日本語力の異なる学習者を受け入れているので、試験等によりレベルを判定し、クラスを編成することになります。新入生が皆同じレベルのクラスに入るわけではありません。資料

3で「(1) A2」と書いてある初級部分に、新規入学者のすべてが入るわけではありません。判定結果により学習者の能力に応じたレベルのクラスで学習を開始し、学期ごとに進級して、進学、就職あるいは学習者が目標とした日本語の水準に達した時点で修了し、学校を離れていきます。最終レベルまで到達しない学生があるというのは不自然ではありません。そのためにもカリキュラムを体系的に編成することが必要とされています。

つまり、多くの日本語学校で設定されている2年コースというのは、日本語学習経験のほとんどない者に対して2年間、セメスター制であれば4学期で大学進学

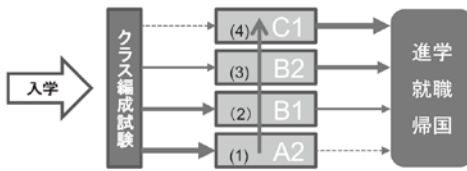
日本語教育機関の教育活動

(資料3)

週5日、年間35週以上・760授業時間以上のコース設定
 学習者20人につき1人以上の教員
 クラス定員は20人以下

体系的なカリキュラム編成
 学習者の日本語力に応じたクラス編成
 学習目的を達成した時点で修了・離校

◇2年コース4段階設定の例



進学	国内就職	その他
38,924	2,945	921
79.6%	6.0%	1.9%

JASSO「平成29年度外国人留学生進路状況・学位取得状況調査結果」より

2年課程とはN-5取得レベルあるいはほとんど日本語学習経験のない学習者に対して2年間でB2(N-1)以上に到達できるコース。2年間に在籍しなければ修了できないということではない。1年間の在籍で進学／就職する者もある。

日本語教育機関の役割

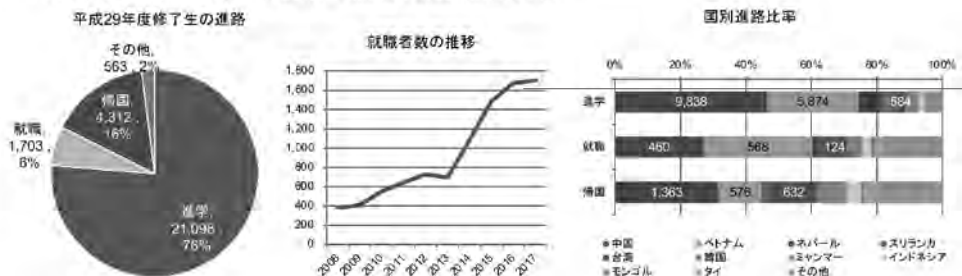
(資料4)

留学生支援	教育活動
生活者としての留学生 オリエンテーションの実施 住居支援 健康・衛生面の助言と指導、健康診断 国民健康保険加入指導 住民登録、銀行口座開設等の諸手続きの支援 アルバイトに関する指導と支援 交通安全教室の開催、交通事故等の対応 災害発生時の対応 日本社会を理解するための取組み 文化体験プログラム等の実施 地域交流、ボランティア活動 進路に関する支援 進路に関する説明会等の実施(進学、就職) 関係資料の収集と提供 在留上の指導・支援 入管法上の留意点についての指導と助言 取次申請者の配置 在留上問題のある留学生への個別指導 不法残留、不法就労防止の取組	教育活動の計画 体系的なカリキュラム編成 教育目標に合致した教材選定 教育活動の実施 学習者の日本語能力に応じたクラス編成 学習目的が達成した段階で修了 授業及び出席の記録と保管 理解度、到達度の判定 個別学習指導 外部試験(日本語能力試験、日本留学試験等)への対応 教育活動の評価 自己点検・評価の実施と結果の公表 教育成果の把握 学習成績の記録と保管 外部試験結果の把握 進路状況の把握

(資料5)

日本語教育機関の役割

(日振協 平成30年度 日本語教育機関実態調査 結果報告)



「JASSO 平成29年度外国人留学生進路状況・学位取得状況調査結果」より

	博士課程	修士課程	専門職学位課程	大学(学部)	短期大学	高等専門学校	専修学校 専門課程	準備教育課程	日本語教育機関
日本国内で就職	677	3,215	313	4,418	272	9	7,246	92	2,945
出身国・地域で就職	786	1,579	200	908	26	5	802	28	1,778

や就職に必要とされる水準に達することができる、CEFR⁽²⁾ でいいますと、B2 ないし C1 まで達することができるということです。そのようなコースを2年コースと設定しています。このことが実はなかなか理解されず、1年しか在籍しない学生があれば、1年コースに入学させるようにと地方出入国在留管理局から指導されたとの報告もありますが、語学教育の特質を理解した施策制度設計をお願いしたいところです。

日本語学校生の多くが進学・就職

資料4は日本語学校で実施されている多彩な教育活動です。

日本語学校はこれまででも多くの学生を大学等へ送り出しており、日振協⁽³⁾の調査では卒業修了生の76%、JASSOの調査では8割が進学しているとされています。大学における外国人留学生の受入れ形態が多様化している現在でも、日本語学校が果たしている役割はたいへん大きいと考えていま

2. CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2019/01/15/1402610_1.pdf

3. 一般財団法人日本語教育振興協会 <https://www.nisshinkyō.org/index.php>

日本語教育機関の実施する多様な日本語教育

(資料6)

	学習目的	学歴		基準 対象	日本語以外の学習	到達水準	学習期間 (最大)	日本語教育修了後の進路	在留	
		大卒	高卒						継続	帰国
海外から受入れ	日本国内で就職	✓		○	ビジネス関連科目	B1～C1 *1	2年	就職(「技・人・国」等)	✓	
	医療・介護人材として就業	✓	✓	○	進学予備教育	EJU 240	2年	進学(大学・専門学校等)	✓	
	研究・勉学・学位取得	✓	✓	○	進学予備教育	EJU 240	2年	進学し資格取得 *2	✓	
	勉学・技術習得	✓	✓	○	研究計画書、論文の書き方等	B1～C1 *1	2年	大学院進学	✓	✓
	高度な日本語習得、日本理解深化	✓	✓	○	進学予備教育	EJU 240 (B2)	2年	大学進学 *3	✓	✓
	特定技能として日本国内で就業	✓	✓	○	進学予備教育	EJU 200, N2以上	2年	専門学校進学 *3	✓	✓
	日本理解・日本語習得 *4	✓	✓	○	文化理解・交流活動等	N2～N1/B1～C1	2年	帰国し就業等		✓
	生活に必要な日本語習得			-	△ 技能試験対策	A2～B1	1年	特定技能人材として就労	✓	
国内	業務に必要な日本語習得			✓	×	文化体験等	ニーズにより設定	90日	帰国	✓
	生活に必要な日本語習得			-	×	日本事情	A2～B1	任意	日本国内に在留継続	✓
	業務に必要な日本語習得			-	×	分野に応じた専門的表現等	ニーズにより設定	任意	就業の継続	✓

■ 高度な日本語力を養成する課程。《告示基準対象、在留資格「留学」》

*1 職域や業務、あるいは研究分野により必要とされる日本語力は様々である。修業年限に関わらず学習者の必要とする水準到達した学期終了時に離校。

*2 大学、専門学校等との接続教育が望ましい。

*3 就職活動に必要な日本語学習支援について日本語教育機関は協力・連携が可能である。

■ 一定程度の日本語力を養成し、特定技能人材を送り出す課程。(検討中の機関あり)

■ 学習ニーズに合わせて日本語教育を行う課程。《告示基準対象外、「留学」以外の在留資格・日本語を母語としない学習者対象》

*4 日本語教育機関で実施している短期コースや、海外の教育機関から派遣された学生グループを対象にしたプログラム等

す。国としても大学等に在籍する外国人留学生の経路を把握し、日本語学校の果たしている役割を評価されることを希望しています。

もう一つの注目点は、日本語学校から日本国内で就職する者が増加しているということです。日振協の調査によると、1,700人余りが就職をしており、ここ10年間で4倍強になっています。資料5に示したように、JASSOの平成29年の調査では、大学(学部)を卒業し日本国内で就職した者4,418人に対し、日本語教育機関修了者のうち国内で就職した者は2,945人となっております。これは決して少ない数字ではな

いと考えています。大学等への進学希望者だけではなく、母国で高等教育を修了し、日本国内で就職を希望する者を受け入れ、既に多くの外国人材を日本社会に送り出しているわけです。今後更にこの数は増加するものと思われ、日本語教育基本方針⁽⁴⁾に日本語学校の役割の一つとしてこれを明記し、これらの留学生に対しても大学、専修学校で学ぶ留学生と同様に施策として就職支援をしていただきたい。

一部の自治体では、既に大学コンソーシアムを核に、大学、日本語学校、専門学校、企業、経済団体等との連携が進み、機能している例もあります。このような連携が全

4. 日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針について 文化庁通知(令和2年6月23日) https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/92327601.html

国に広がるように支援をしていただきたいと思います。

さらに、資料5の「出身国・地域で就職」でわかるように、日本語学校では進学や国内での就職希望者をその希望する進路に送り出すだけではなく、日本語を学んで帰国して海外において日本語人材として活躍している者も生み出していますが、これも日本語学校の重要な役割の一つです。

国内外での様々な活動

資料6の一覧表は個々の日本語学校が取り組んでいる活動をまとめたもので、様々な外国人の受入れ場面に対応しています。濃いグレーの網掛け部分では、告示基準

のコースの他に、地域で生活する外国人等を対象にした日本語教育、企業の委託による外国人社員に対する日本語教育、海外の大学の派遣する学生に対する日本語教育を行っている機関もあります。

日本語学校の海外活動については、組織的にまとまった調査は実施されていませんので、ここでは個人として把握している範囲で紹介させていただきます。まず募集活動や、現地の機関・団体との連携、推進のために海外事務所を設置している教育機関もかなりの数あります。現地での日本語教育普及のために日本語学校を開設している機関や、海外の大学や高校等教育機関へ教員を派遣している機関もあります。これは非常に少ない例ですが、海外の大学で日本

日本語教育機関の海外展開・連携の例

(資料7)

海外事務所の設置

日本語学校開設

卒業生の組織化(同窓会等)

海外の教育機関への教員派遣、プログラムの提供

現地の日本語教員への指導・支援

海外大学派遣の学生グループに対する日本語教育

国内での連携等

地域との連携

地域ボランティア教員への指導・支援

小中学校における国際理解教育等への協力

交流活動、ボランティア活動

大学との連携

大学に在籍する学生への日本語教育支援

教育実習生の受入れ

語学科の設置に協力している日本語学校などもあります。また、現地の日本語教員の水準向上のために指導者を派遣し、現地で指導しているケース、あるいは現地の日本語教員を日本へ招待し、日本国内で指導・研修等を行っている機関もあります。このようなことから、国としても日本語学校を含んだ日本語教育の海外展開と連携について調査を行い実態把握し、更なる支援に繋がっていただきたいと思います。

国内での地域連携について二つの例を報告します。一つは自治体と連携して地域の日本語ボランティア教員への指導・支援を行っている日本語学校や、大学と連携して大学に在籍する留学生への日本語教育支援を行っている日本語学校もあります。日本語学校では、このように様々な日本語教育を行っておりますが、一方で留学生教育の一端を担う日本語学校は教育機関としての水準向上と質の保証が求められていると考えています。(資料7)

日本語学校の質保証について

日本語教育振興協会では、日本語教育機関の水準の維持、向上を目指すための活動を行っています。平成22年の行政刷新会議のときまで文科省、法務省及び外務省の支援を受けて日本語教育機関の審査・認定を行い、その結果は法務省告示の参考とされてきました。この審査・認定とともに、個々の日本語学校が自ら行う質保証の取組への支援として、平成15年に「留学生受

入れに関するガイドライン」を制定しました。そして平成26年には「日本語教育機関のための自己点検・評価項目」を発表しています。これに基づき平成27年に「第三者評価事業」を創設、29年には「教育活動評価事業」を創設しました。現在、日本語教育振興協会の会員は3年ごとにこれらいずれかの評価を受けることになっています。また、語学学習サービスの国際規格であるISO29991認証取得を希望する機関に対しての支援も行っています。

このような評価事業の他に、日本語教育機関の水準向上のための研修事業を行っています。(資料8) その中でも文化庁の委託研修として行っている初任教員研修と主任教員研修も教育の質を保証する重要な活動として行われています。

ポスト・コロナ時代における 日本語学校と日本語教育

海外から外国人を受け入れるという日本語学校の特性から、2020年3月以降の新型コロナウイルスの影響は甚大なものとなっています。日本語学校で感染対策を行う中で、日本語教育の手法・形態も変化しています。

最も大きな変化の一つはICT活用の一般化です。多くの日本語教師はICT対応の必要性を感じ、その活用力を飛躍的に高めたと思います。日本語教育の世界は他の業界に比べてICT化が進んでいなかったと思いますが、今回のコロナ禍によって、ICT活

(資料8)

日本語教育機関の質保証と日本語教育振興協会

日本語教育機関の水準の維持、向上を目的に、平成元年設立。

「日本語教育施設の運営に関する基準」による審査認定。

平成元年～平成22年 全日本語教育機関対象

平成22年～平成28年 日振協会員校中心

留学生受入れに関するガイドライン制定。(平成15年)

「日本語教育機関のための自己点検・評価項目」発表。(平成26年)

「日本語教育機関のための第三者評価事業」創設。(平成27年)

従来の審査認定に替わる「教育活動評価事業」創設。(平成29年)

評価事業 質保証

- ・教育活動評価
- ・第三者評価
- ・ISO29991認証取得支援(JAMOTECとの連携)

研修事業 水準向上

- ・初任教員研修(文化庁委託研修)
- ・主任教員研修(文化庁委託研修)
- ・日本語教育機関トップセミナー
- ・日本語学校教育研究大会
- ・生活指導担当者研修
- ・事務統括職員研修会
- ・申請取次者講習会

支援事業 日本語教育機関の支援

- ・日本語教育機関に関する情報提供
- ・留学生の適正な受入れ・在籍管理のための支援
説明会、情報提供、中国及びベトナム認証システム

用が必然の状況となり、これは大変な状況下で我々が得た貴重な経験ではないかと思っています。

このような ICT 活用により、全ての教育を教室で行う必要はないということを改めて認識させられ、特に日本語学校においては教育活動が教室の中だけのものではないということがはっきりしました。

さらにオンラインを使った日本語授業が一般的に行われるようになると、教育活動の実施時期が広がります。これまでは来日し、学校に来てから教育活動が始まるというのが普通と考えてきましたが、入学前あるいは来日前から教育活動が可能なのだという事に気付きました。日本語学校の教

育も、実は日本国内だけではなくて、海外にいる時から開始することができます。また、日本語学校卒業後の日本語サポートの重要性というのも今まででも言われていましたが、オンライン利用により現実的に今これが非常にやりやすくなっています。つまり日本語学校の教育は学校の中に限らずでできるようになったのです。ICT 活用が前提となり、どこでも学習できるようなプログラムが普及していくと、それじゃあ学校はいらんんじゃないかという議論も出てきます。しかし対面で行うことで効果が出せることがあります。対面でなければできないこともあります。日本語学校はこれまで対面授業を中心にした教育活動で成果をあげ

できました。これからは、対面でなくてもできることと、対面でなければならないことを明確にし、日本でしかできない日本語教育をさらに追求しなければ、日本語学校は存在できなくなる、相手にされなくなってしまうのではないかとさえ思います。

このように対面授業活動の位置付けが変化したということは、現在の日本語学校告示基準についても合わない部分が出てきていると言えると思います。つまり、告示基準に従えば教室に学生全員を集めて、週に一定時間以上授業をやらなければいけないわけですが、では教室の外で行われる授業はどのようにカウントするのか、その有効性はどうかということが検討されなければならないのではないかと思います。日本語学校の告示基準はビザ制度と密接に連動していて、これを変更するのはなかなか大変だと思います。しかしポストコロナを考えると、プログラムの多様化や、留学生教育・日本語教育の変化は必然的に起きるので、制度も変化させざるを得ないでしょう。そういったプログラムは今の告示基準に合わない部分も出てきます。これから日本語教育そのものをもっと新しい形にしていく、もっと充実した形にしていくためには、基準が足枷になってはならないと思います。学校の在り方や教育方法そのものが大きく変わってきたわけですから、今度は制度や基準もそれに合わせた新しいものを国にも考えていただきたいと思います。

ただ、告示基準そのものをもう少し柔軟

に考えなければならないと思う一方、柔軟に扱うことでそれを悪用しようとする人たちがいないとも限りません。そこが非常に悩ましいところです。留学生を受け入れて教育する機関は、第三者評価によって質保証をし、質が保証できている機関については緩やかな扱いをするという方向が考えられます。日本語学校は教育機関であって、外国人を管理するための機関ではないわけですね。第三者が客観的に評価をして、それをもとに勉学先が選ばれるというようにしないと、いつまでたっても同じことの繰り返しになってしまうと思います。

終わりに

外国人材の積極的受入れという社会の要請の中で、日本語教育の重要性の認識は高まっており、日本社会に必要な不可欠であるとされると認識されるに至っています。そのような中で日本語学校はさらに幅広い役割を果たすことができると確信しています。現在検討中の様々な施策について日本語学校は諸機関と連携し、あるいは単独でその役割を十分担うことができるということを理解いただきたいと思います。日本語学校を法律で教育機関として規定し、所管官庁が明確に定められ、日本語教育推進法に則って日本語学校の制度が速やかに取り組まれ、具体化されることを強く要望します。(了)

新星学寮での生活

(第1回)

新星学寮はアジア学生文化協会の創設者である穂積五一先生が1932年に開設した至軒寮を戦後(1945年)改称したものです。以来日本とアジアの青年学生が自治的な共同生活を通じ、相互理解を深め友愛を培う場として維持されてきましたが、老朽化が進んだため、2018年に耐震性・耐火性を備えた建物に建て直されました。建替えに当ってはOB・OG・関係者の皆様から多大なるご協力をいただき、2019年4月に新入寮生を集め新たなスタートを切りました。今回からこの新星学寮にまつわる寮生によるレポートをご紹介しますことで、寮の今をお伝えするとともに、留学生寮運営のあり方なども考えていきたいと思います。

新星学寮の食事会について 亀山 泰

新星学寮では、自治運営のために寮での生活について話し合う「寮会」の他に、寮生同士の親睦を深める活動として、月に二回の食事会と、年に数回の旅行をしている。食事会では、毎回一人か二人がメインで作り、手伝いが必要な場合は手の空いている人が手伝う。メニューは自分の国の料理でも、母国以外の料理でも、初めて作る料理でも、何でもよい。おすすめの飲食店を紹介したい場合はテイクアウトやウーバーイーツで料理を注文することもある。コロナ禍の中、食事会を中断した時期もあったが、いつまでも中断しては寮生が皆で会える機会が減ってしまうため、感染に不安のある人は無理に参加しなくてよいとし、食事の前に手を洗うなど気を付けた上で、今は通常通り、月に二回開催している。おいしいものを食べながら、最近身の回りに起きたことや、気になるニュースのこと、それぞれの研究内容のこと、そして料理や

お酒のことなどを気兼ねなく話せる場として、食事会は私たち寮生にとって大切なイベントである。

今回は、新星学寮のある日の食事会について、料理を担当した包さんに執筆を頼んだ。しばらく中断していた後の久々の食事会で、なんと包さんと王さんと黄さんが食材を築地市場で仕入れてきてくれた。料理はどれも最高においしかった。新鮮なお刺身に、柔らかくて脂までおいしい和牛、蟹の味噌汁、ほかにもテーブルに御馳走がたくさん並び、幸せな夕食だった。

余談だが、寮の共用キッチンの冷蔵庫は一段を一人か二人で分けて使っており、私(亀山)は包さんと同じ段を使っている。食事会の数日前、冷蔵庫を開けたら巨大なアロエがまるごと一本入っていた時には本当に驚いた。珍しい食材に出会えるのも食事会の楽しさかもしれない。

刺身食事会のこと 2020年10月3日、4日

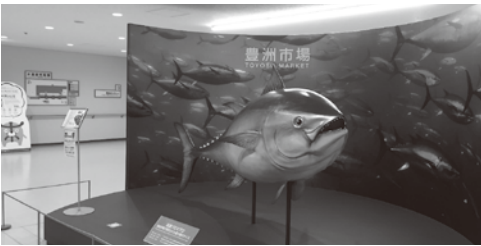
包 潤秋 王 秋琳 ホワン ユイユエン 川上佳風（修正）

食材を買うために、まずは豊洲市場に行った。豊洲市場は水産卸売棟と水産仲卸売棟、二つのビルより構成される。



水産卸売棟は丸まる一匹の魚などを売るところ、海鮮処理工場向けの商売をするのだ。水産仲卸売棟は切身の販売、料理屋向けのところだ。

この模型は今まで獲った中で一番大きいマグロ、三メートル以上の身長だった。



マグロの競り（auction）は朝5時頃既に終わっていた。結局、豊洲市場は専門業者向けで、一般客は買えなかった。

築地市場に移動、築地場外市場は一般客向けのところだ。



車エビは、刺身にしようと思ったのだったが、臭かったので最後は焼いた。アワビのスープを作ろうと思ったのだったが、ホワンさんの助言で、カニスープに変えた。



マグロ赤身の大物一個と大トロ一個買った。マグロの大トロの部分は一番高くて、脂肪が多く美味しい部分だ。赤身はより安い部分だ。大物というのは、下の写真のような大きいサイズの魚肉だ。



大物の処理はちょっと面倒くさかった。

まずは血合いの部分を除く。血合いの部分は直接食べられず、水に沈めて血を解消したあと、ネギトロにした。残った部分は刺身にした。刺身の切り方も結構複雑で、平づくり、そぎ造り、薄造りなど色んな切り方がある。最後はより簡単な平づくりとそぎ造りを選んだ。平づくりは、魚皮の面を上向きで、右から包丁を直下に切る。そぎ造りは皮の面を上向きで、左から、包丁を左下に斜めで切る。厚さは全部一センチぐらい。注意点は、角ができるように切る、角ができる刺身がかっこいいからだ。

大トロの部分はどう調理しても美味しいか

ら、王さんが普通に角づくりにした。

ネット通販でアロエを買った。アロエ刺身にする。



やはり食べるより、食材を集めて料理を作る途中の色んな経験の方が楽しかった！



最 最終的に出来た料理：中央下から左回りに、帆立のバター焼き、和牛ステーキ、うなぎ蒲焼、マグロ赤身のさしみ、焼きえび、マグロ大トロの刺身とサーモン刺身の盛り合わせ、中華風焼き蛤、イクラとウニと鯛の盛り合わせ、マグロ赤身血合い部分のネギトロ、アロエの刺身、生卵。

寮生（前列）とOB・OG、ABKスタッフ、ご近所の皆様と（19年6月）



健康的留学生生活はよく寝ることから

周 瑞 (ZHOU RUI) ～ 中国 山西省

東京大学大学院 教育学研究科身体教育学コース (修士)

日本留学

大学での専攻は日本語だったのですが、実は最初に日本語を学んだのは自分の意思ではないんです。大学が私の専攻を日本語に決めてここに導いてくれた。良くいうと運命の出会いですね (笑)。私は新しいことに対する関心が強い人ですから、それまで学んだことがなかった日本語には大いに興味を持って取り組みました。そして、日本語で日本人と話せるようになるにつれて、勉強がどんどん楽しくなって行ったんです。

日本語は漢字を使うので中国人には学びやすいと言われていますが、一方で同じ漢字でも中国語とは違う意味で使われているものも多く、そこは逆に難しいところです。で

もそういった違いの発見も私の勉学意欲を駆り立ててくれました。

ただ学部生時代に日本留学を考えたことはありませんでした。大学3年生の時、交換留学制度を利用して日本語学校に留学した同級生がいましたが、その時の私は海外に行って一人で暮らすなんていう勇氣は全くありませんでした。もちろんいつかは日本に行きたいと思っていましたし、それは大学院に進学してさらに勉強を続けていけば叶うことだと思っていました。

そんな思いを持って北京の有名な大学院を受験したのですが、結果は点数が1点足りず、不合格でした。本当に悔しくて仕方がなかったです。家族はそんな私を見て、



これからも日本語を学びたいのなら、日本に留学したらどうかと勧めてくれました。姉がそのための情報を一生懸命集めてくれたこともあり、日本に行ってみようと決心したんです。

専門は身体教育

最初は日本でも日本語を専攻するつもりだったのですが、大学の日本語学科の先生から「日本で学ぶのなら言葉はツールとして使う方がいい」とい

うアドバイスをもらい、自分の性格のことなども考えて「教育」に関わる研究をしようと決めました。私は学校という場所が大好きなので、ずっとそういう環境に身を置きたい、学生たちと関わって行きたいと思ったんです。

身体教育学では身体と心の関係、それがどのように脳の発達や健全な精神の育成に関わっているのかといったことを研究しています。中でも私が研究しているのは「精神的健康」についてです。思春期の若者の多くが鬱や不安など様々な精神不調の経験を持っていて、それらは将来の精神

障害につながる可能性があります。ですから精神的な健康のリスク要因について調べることが重要だと考えていて、今は

主に思春期の睡眠と精神病様体験について調査と分析をしています。

精神病様というのは、幻覚とか幻聴、幻視、さらに被害妄想といったもので、精神障害と直接的つながりはありませんが、そういった経験が長く続くと、体調はどんどん厳



しい状況に向かってしまします。こうした事例はこの10年間でどんどん増えていて、子供たちの成長にとって問題として捉えられるようになってきています。

私は大学と提携関係にある中学、高等学校に質問書を送って、主に精神状態と睡眠の状態について生徒たちに答えてもらい、そのデータを分析しています。今の子供たちはスマホの長時間視聴や受験のストレスなどで睡眠時間が短くなっていて、その結果抑うつや不安症状を訴える子が増えています。睡眠と精神的健康は大いに関連があるので、しっかり寝る時間を確保しなければいけません。

また、質問書に「相談したい」という希望があれば、研究室のスタッフが直接生徒と面談するという形で、生徒たちの



中国の大学卒業式の日。
苦楽を共にした寮のルームメイトたちと（右端）



研究生時代。来日した年（2018年）のクリスマスに日本語交流ボランティアの方の自宅で他の留学生たちと過ごす（右端）



神津島で行われた野外運動指導合宿に参加（手前右）

心の健康に対するケアも行えるんです。

日本にはこうしたフォロー体制を持っている学校が増えています。中国はまだその点はあまり重視されていませんから、将来中国の教育界にも役立てればと思っています。

去年、まったく未知の分野としてゼロから始めた研究ですが、先輩たちに協力してもらって、今は順調に研究成果も出ています。もちろんまだまだ勉強しなければいけないことはたくさんありますから、同じ指導教官のもと博士課程にも進んで、もっと知識を高めていきたいと思っています。

中国人留学生は なぜ日本を目指すのか

私は大学を卒業して来日ま

での間、留学エージェンシーで仕事をしていました。私のいた会社は小さかったのですが、ほかにも大きなエージェンシーはたくさんあって、海外留学する中国人は多いんだなあって、そこで改めて実感しました。

アジアの留学先としては、日本、韓国、シンガポールを希望する人が多かったのですが、日本を希望する人の動機は、高校生ならアニメや音楽など日本文化への関心から、日本で生活したい、日本の学校に通いたいという人が多いですね。大学生の場合、もちろん私のように国内で希望した進学先に合格できなかったからという人もいますが、逆に優秀な大学に通っている人がさらに良い経歴を加えるために日本に

留学をする、というパターンが多いように思います。

日本は中国から近い先進国で教育のレベルも高いと考えられています。もちろん中国の発展は今凄くて教育のレベルも進んでいます。でも私たちからすると日本は既に発展し成熟した国という印象なんです。実際に私が来日して思ったのは、環境がとてもきれいに保たれているということ。ゴミの分別が何年も前から始まっていたり、人々が順番待ちの列を自然に作ったりといったことが当たり前に行われている。中国もそういったマナー意識は年々向上していますが、日本のように全国でそれが徹底されるまでにはまだまだ長い道のりがあると思います。



教育学研究科の留学生たちと和菓子屋を見学



教育学研究科国際交流室のチューター達とイベントで記念写真（左3人目）

日本生活と留学生への アドバイス

研究生活については先生も同僚もみな良い人たちですし、大学も日本人学生との交流や論文の日本語チェックなど、留学生に対する様々なサポートを用意してくれているので特に不満に感じることはありません。

少し大変なのは経済面で、私は奨学金がないので国際交流室でチューターをさせていただいたり、大学の食道でアルバイトをしたりしていたのですが、新型コロナの影響でそれらの仕事がなくなっていました。代わりに今はスーパーで働いているのですが、来年こそ奨学金をもらって、もっと勉強に集中できる環境を作りたいと

思っています。

勉強で難しいと感じているのはやはり言葉の壁ですね。私は時間があると好きな日本のアニメやドラマを字幕無しで見て、聴解の勉強に役立っています。それらはほぼ聞き取れるのですが、実際日本人と対面で話してみると分からない時がまだあります。特に授業は専門的な用語が多いので、ゆっくり話されても理解できないことがある。専門用語には外来語も多いので、そこは勉強して覚えていくしかないのですが、言語の壁は想像以上に高いなあと感じています。

だからそうした苦勞を乗り越えるためにも、留学生には「自分は将来どんな人になりたいのか」という目標をはっきり持って欲しいと思

います。そしていつもその初心を忘れないことが大切です。特に大学院での研究生活は孤独で寂しさを感じることも多い。でも研究の面白さを見つけて、そこに集中することでその寂しさは忘れられます。もちろん国籍を問わず友達をたくさん作って、彼らと接することで気分転換できるようにする。母国の友人や家族ともよく連絡をとって、お互い心配をかけないようにすることも大切です。そして、私の研究と関連しますが、まずはよく寝てください（笑）。

将来は学生に教えながら研究を続けていくというのが理想ですが、それが出来なくても研究を通じて一生教育に貢献していきたいと思っています。

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

水谷 光一

③⑦ 国際プログラム 日本人学生にインタビュー

タイには英語で4年間履修できるコースがどこの大学にもありますが、TNIでも2018年から【英語で日本のものづくりの技術を勉強できる大学】としてINTERNATONALPROGRAM(国際プログラム)をスタートさせました。

工学部のデジタルエンジニアリング (Digital Engineering program DGE)、情報学部 of データサイエンス & アナライティクス (Data Science and Analytics Program DSA)、経営学部 of グローバルビジネス & マネジメント (Global Business Management GBM) の3コースは英語で4年間授業を行います。

今回インタビューに答えてくれた2名^{たつみ}＝巽^{しょうえい}修英君と今井^{いまいたかし}貴君は二人ともデータサイエンス&アナリティクスプログラムに2018年第一期生として入学した学生で、現在3年生です。

—— まずはご家族のことや、タイの大学を選んだ経緯などを教えてください。



Data Science and Analytics コース
巽君 (左) と今井君

巽君： 父は日本人、母はタイ人で、2歳の時まで日本に住んでいましたが、父がタイで仕事をする事になり、私たち家族もタイに移り住みました。父は倉庫管理の仕事をしていて、母は保険関係の仕事をしています。兄はオランダで情報関係の仕事をしています。父が決心してタイに来たわけですが、僕はタイに来てほんとうに良かったと思います。

今井君： 僕は埼玉県ので生まれで県立高校卒業です。父は日本人で歯科技工士、母はフィリピン人で電子基盤関連の仕事をしています。幼稚園までは母と頻繁にフィリピンに

行っていましたので、家庭内での会話は全部日本語だったのですが、日本語はあまり上手ではありませんでした。兄がいますが、ずっとフィリピンで育ちました。僕は高校卒業後、日本の大学に行くつもりで浪人したのですが、現在は仕事の関係でタイに住んでいる兄から、タイの大学に入ったらどうかとの誘いがあって、面白そうだと思います。僕の通っていた高校はあ

まり進学に熱心な所ではなかったので、同級生は就職をしたか、専門学校に進学している人が多いようです。

——— TNI を選んだのはどうしてですか。

巽君：僕は小学校から中学2年生の途中まで泰日協会学校（バンコク日本人学校）に通っていました。その後、中学2年生半ばで Trill International School（インターナショナルスクール）に転校して英語の特別クラスに入り、英語の特訓をしました。インターナショナルスクールの学生は全体の5%くらいが日本人でしたが、僕は時々日本語の授業のTA（ティーチングアシスタント）もしていました。理学、特に生物が好きで、そういった方面のタイの大学も考えていましたが、生物以外の成績があまり良くなって諦めました。今の専門を選んだのは兄の影響で、兄からは将来ぜったい Data Analysis（ビッグデータの解析技術）の勉強が役に立つということを聞いていました



お気に入りの図書室で

から“Data Science”のキーワードで検索して TNI を見つけました。僕の家もこのあたりなので、母も TNI のことを知っていて、勧めてくれました。

今井君：僕は進学するつもりでタイに来ましたから、兄がいろいろなところに連れて行ってくれました。大学は3ヶ所を回りましたが、最後に訪れた TNI では、その場で入試を受けるための手続きをしました。他の2大学は英語などいろいろな条件が合わないと感じました。専門については、兄とよく検討してデータサイエンス&アナリティクスプログラムに決めました。このプログラムが高校までの勉強で一番自分の条件にあっていと思ったからです。最初は英語の授業についていけず本当に苦労しましたが、兄が家庭教師をつけてくれたり、修英君をはじめとしたクラスメートに助けられたりしてなんとか苦しい時期を乗り切れました。修英君がいなかったら、勉強を続けるのは難しかったかもしれません。ま



Data Science and Analytics コースの仲間たちと

た、長崎大学から短期留学で来ていた浦正幸君にもいろいろな面で助けてもらいました。(本誌 No.536 参考)

—— 今勉強していることと TNI についての感想を聞かせてください。

巽君： 入学してすぐにデータが扱えると思っていたので少しイメージが違いましたが、3年生になって、今は実際にデータを用いた勉強が出てきていて DSA コースには満足しています。英語に関してはインターナショナルスクールでずいぶん鍛えられましたから、問題はありませんでした。父もイギリスへの留学経験があって、そこで母と出会ったらしいのですが、ずいぶん勉強に関しては力になってくれました。振り返ってみて、日本に居た方が良かったのではないかという考えはなく、タイ人・日本人の先生方にいろいろ教えていただき TNI に入学してよかったと思います。僕たち日本人学校で育った子供は、

タイ生まれと言ってもタイ社会とほとんど接点がない子が多いです。TNI の国際プログラムなどの学校行事はタイ語で行われることも多いので、もっと英語を使って欲しいなあと思います。また食堂のメニューも、もっと英語を増やして欲しいですね(笑)。

今井君： 両親は進学に

ついて僕に任せてくれています。僕のように日本でごく普通の高校生だった日本人学生が TNI の国際コースに入学するメリットとしては、TNI は日本人や日本の大学を卒業した先生方がとても多いため、気軽に質問等が出来る上に、学費も日本の大学と比べるとかなり安く済むので、メリットは大きいと思います。ですから、留学先を検討している日本の学生には是非ともお勧めしたい大学です。もし、出身の県立高校の後輩が TNI に入学したいと相談してきたら、もちろん勧めますが、特に中学レベルの英語の基礎をしっかりと勉強しておくべきとアドバイスしたいですね。

—— TNI 卒業後はどのような進路を考えていますか？

巽君： 卒業後は日本の大学院に進学したいと思っています。物心がついてから日本に住んだことがないので、ちょっと不安ですけど…。また、日本の教育制度を8年

受けいていると留学生特別試験を受けられないそうですが、僕は中2の途中で日本人学校からインターナショナル校に転校しているので、特別枠で受験できるかなと思っています。その後は日本で働くかもしれません。タイ語の読み書きは苦手ですし、特別英語を生かして仕事をしたいわけでもありません。TNI で得たデータ分析の技術を

さらに深めていきたいと思っています。ただ、情報の世界では次々と新しい技術が生まれるので、最新の技術やプログラミングを学んでもすぐに陳腐化するのではと、心配な部分もあります。

今井君： TNI で得た知識を生かして卒業後は日本に帰って日本で情報関係の仕事をしたいと思っています。

今回 2018 年に第一期生としてインターナショナル・プログラム（国際プログラム）に入学した 2 人に聞きました。筆者は 2 年前に彼らの入学に際してかわりがあったので、早くも 3 年生になったかと思うと時の流れの早さを感じました。

もし、読者のみなさんの周りに本来は欧米に留学したかったが、この感染症騒ぎであきらめている方がいれば、タイで英語で 4 年間勉強できる日本とも関係が深い大学があるということを教えていただきたいです。

TNI（泰日工業大学）国際プログラム 学生募集

・工学部 Digital Engineering Program （スマート技術などを勉強します。）

➡シラバス：<http://inter.tni.ac.th/media/399/TNI-Program-Fee-Digital-Engineering.pdf>

・情報技術学部 Data Science and Analytics Program （ビッグデータの解析を勉強します。）

➡シラバス：<http://inter.tni.ac.th/media/400/TNI-Program-Fee-Data-Science-Analytics.pdf>

・経営学部：Global Business （国際的なビジネスの勉強をします。）

➡シラバス：<http://inter.tni.ac.th/media/400/TNI-Program-Fee-Data-Science-Analytics.pdf>

※泰日工業大学（TNI）は日本型ものづくり大学を目指し、タイと日本の経済連携とタイ日友好の発展のため 2007 年に開学した大学。日本の技術移転を促進しタイ産業界の人材育成を行うため、ABK に在館していたタイ人元日本留学生たちが中心となって 1972 年に設立された泰日経済技術振興協会（TPA）が母体となっている。

水谷光一（みずたにこういち） 1962 年神奈川県生まれ。1988 年からタイ在住。1999～2004 年 ABK に勤務。現在 TNI Co-operative education and job placement center 所属。



奨学金情報

奨学金情報は Japan Study Support (JPSS) web サイトで検索いただけます。

■ 一般社団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金

対象: 大学院、大学・短期大学、専門学校に在籍するアジア諸国の国籍を持つ私費留学生。

※該当国は以下の21カ国+3地域です。

大韓民国、中華人民共和国、台湾、香港、マカオ、モンゴル、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ、ネパール、ブータン、東ティモール、ブルネイ、モルディブ

給付金額: 毎月10万円 (2年間支給)

給付開始: 2021年4月

募集人数: 15名

応募方法: 学校推薦 (奨学金対象校は主催者)

ホームページでご確認下さい)

応募締切り: 2021年1月29日 (金)

主催および問合せ先:

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

TEL 03-5295-0205

E-mail kif-info@dormy.co.jp

URL <https://www.kif-org.com>

■ 株式会社 共立メンテナンス奨学金基金 奨学金

対象: 大学・短期大学、専門学校、日本語学校に在籍するアジア諸国の国籍を持つ私費留学生。※該当国は上記共立国際交流奨学財団奨学金と同一。

給付金額: 毎月6万円 (1年間支給)

給付開始: 2021年4月

募集人数: 25名

応募方法: 学校推薦 (奨学金対象校は主催団体ホームページでご確認ください)

応募締切り: 2021年1月29日 (金)

主催および問合せ先:

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

TEL 03-5295-0205

E-mail kif-info@dormy.co.jp

URL <https://www.kif-org.com>

イベント情報

■ 日本留学フェア in 高田馬場

内容：大学、専門学校約40校が参加予定の留学生向け学校説明会です。

日時：2021年1月20日（水）13:00～16:00（受付終了15:30）

場所：ワイム会議室高田馬場（東京都新宿区高田馬場1-29-9 TDビル）

主催・参加予約：株式会社ライセンスアカデミー

Tel 03-5925-1902 email liuxin@licenseacademy.jp

■ 外国人材向けオンライン合同企業説明会

内容：多様な業界10社の中から、最大5社、興味のある企業の説明会に参加できます。

日時：2021年1月27日（水）11:00～15:45（5時間程度）

場所：オンライン（Zoom ウェビナーライブ配信）

参加資格：在留資格「留学」または「特定活動」を持ち、日本での就職を希望している外国人の方。

日本での就職が可能な在留資格を持ち、日本での就職または転職を希望している外国人の方

主催・参加予約：東京都外国人材受入総合サポート事業（運営会社「株式会社パソナ」）

<https://r-hataraku.jp/students/event/job-fair-2021-1-27/>

■ ジョブフェア（文理・国籍不問）企業研究フェア <オンライン開催>

内容：外国人留学生向けに10社の企業が、会社・業界・仕事について説明会を行います。日本で就活をしたい留学生はぜひご参加ください。

日時：2021年2月5日（金）12:00～17:30（受付時間：11:30～）

場所：オンライン開催（Zoom）

参加資格：2021年4月～2022年3月に大学・大学院を卒業予定の外国人留学生

主催・参加予約：グローバルリーダー <https://www.globalleadernavi.com>

■ 外国人留学生のためのオンライン就活講座

対象：就職活動のスケジュールや履歴書の書き方、業界のこと、企業の探し方など、就活のための知識を総合的に学びます。

日時：2021年1月14日（木）～2月26日（金）<全8回> 12:00～13:00

場所：オンライン開催 予約が必要です

主催・参加予約：マイナビ国際派就職 <https://global.mynavi.jp/conts/event/>

■ 社長 LIVE 2022 (留学生向け就職イベント)

内容：メーカー、商社、医療など、外国人留学生を本気で採用したいグローバル企業の社長と、直接会える特別選考会です。企業が留学生にどのような仕事を任せたいか、どのような活躍を期待しているかを、社長から直接聞くことができます。

日時：2021年3月22日(月) 13:00～18:00

会場：東京都内の会場(参加が決まった人に知らせます)

対象：2021年3月～2022年3月卒業予定の外国人留学生(要予約・参加のための電話面接あり)

主催：ASIA Link <https://www.asialinkryunavi.com>

MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

2020年7月

賛助会員

昭和西川(株) 中央区
(株) 日吉 近江八幡市

正会員

(1口)
曾根 文子 杉並区
関川 弘司／郁子 千葉市
今泉 雅勝 墨田区
LIM LIM CHY 江東区
橋本 イスラム ヌルル 坂戸市
大田原 康彦／真澄 仙台市
小木曾 建 世田谷区
野口 明美 三鷹市
大島 京子 秦野市
瀬尾 兼秀 北区
井上 美和子 文京区
長谷川 崇之 さいたま市
関 正昭 鹿児島市
竹林 惟允 練馬区
木村 博／劉 彩品 川越市
山本 章治 横浜市

ご寄附

堀 幸夫 杉並区

池野 朋彦／晶子 港北
久津間 優子 小田原市
酒井 杏郎 渋谷区
萩野さき子 富里市
Y.W. 大田区
小木曾 建 世田谷区
横田 隆徳 北区
岡崎 道子 池田市
竹林 惟允 練馬区
綿貫 勤 秋田市

2020年8月

賛助会員

(1口)
服部 泰子 豊田市

正会員

(2口)
米田 康三 浦安市
(1口)
森尾 正照 北杜市
小木曾 友 高崎市
池森 亨介 宇都宮市
大里 浩秋 逗子市
中曾根 信／不二 由布市
真利子 知之 中野区
稲垣 史 足立区
荒川 雄彦 北杜市

ご寄附

株式会社 InfoDeliver 港区
稲垣 史 足立区
新田 宜子 西東京市

2020年9月

特別会員

(3口)
(一財) 海外産業人材育成協会 足立区

(1口)
今西 淳子 文京区

賛助会員

亜細亜大学 武蔵野市
千野 克子 墨田区

正会員

鍋田 純一／由美 千葉市
藤原 一枝 武蔵野市
小倉 美恵子 川崎市
大杉 立 つくば市
寺尾 方孝／三枝子 国分寺市

皆様の温かいご協力に
感謝申し上げます

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：公益財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 白石勝己

設 立：1957年（昭和32年）9月18日

故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的の和と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円

賛助会員 1口 5万円

特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間2千円（十税）でお送りしています。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

2015年度より購読料に別途消費税をご負担いただくことになりました。何卒ご了承下さい。

巻末言

■このコロナ禍で海外からの入国が制限されていたが、10月以降レジデンストラックで留学生の入国も可能となった。入国に当たっては本国での14日間の隔離待機、出国前および入国時のPCR検査、公共交通機関での移動禁止、スマホへの追跡アプリのダウンロードなどが必要である。受け入れ団体も入国後の経過報告を地域保健所に毎日連絡しなければならないが、感染防止徹底のためには致し方ない。

■アジア文化会館の入り口には赤外線カメラが設置され出入りする人の体温を測り、モニターで確認できるようにしている。体温が37度を超える人は赤枠で警告が出され、事務所にブザーが響き、再度接触型体温計で体温を確認する体制をとっている。

■確かに人は平熱より2度高くなると、悪寒がしたりだるくなったりして通常の活動は難しくなり、何かしら病気であるとする。以前高熱で入院した時、医者から「体温が高くなるのは身体の中の菌と戦うための反応だから無理に低くする必要はない」と言われ、そういうものかと思ったことがある。

■地球は温暖化が進みここ100年で1.1度以上温度が上昇しているそうである。とするとCOVID-19は発熱に苦しむ地球が、その原因となっている地球にとってのウィルス（＝人間）と戦うために送り込んだ抗体である、と考えるのは突拍子もないことだろうか？どこか雲の上高く、あるいは海の底深く、地球が鳴らし続けるブザーの音が聞こえないか？（白）

（お詫びと訂正）本誌前号（543号）に誤りがありましたのでお詫びをして訂正をさせていただきます。

P37 写真キャプション （誤）モデルプ → （正）モルディブ

アジアの友 2020年10-12月号

2020年12月10日発行（通刊第544号）

年間購読（送料共）2,000円＋税 1部 500円＋税

発行人 白石勝己

編集 アジアの友編集部

発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2-12-13（☎113-8642）

電話番号：03-3946-4121

ファクシミリ：03-3946-7599

振替口座：00150-0-56754

E-mail: tomo@abk.or.jp

ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by THE ASIANSTUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話にてお願いいたします。



学校法人 ABK 学館

ABK学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6912-0756

FAX +81-3-6912-0757

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail info@abk.ac.jp



ABK COLLEGE

2013年4月に完成した新校舎

新築3階建校舎。最新の耐震設計です。

- 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校（英語名称：ABK COLLEGE）は1957年に設立された公益財団法人アジア学生文化協会が寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校しました。当校には姉妹校のABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会）もあり各種協力を行います。



授業風景イメージ



寮の一例



ABK日本語コース

ABK COLLEGE

ABK COLLEGE（学校法人ABK学館ABK学館日本語学校） 東京都認可日本語課程（大学院・専門学校・就職・文化体験等）			
	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	4月入学 2年コース
授業時間	960時間	1,290時間	1,720時間
入学検定料	20,000円		
入学金	80,000円		
授業料 （施設・教材費含む）	620,000円	930,000円	1,240,000円
姉妹校 ABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会） 文部科学省指定大学進学準備教育課程			
	4月入学 1年コース	10月入学 1.5年コース	
授業時間	1,086時間	1,586時間	
入学検定料	20,000円		
入学金	80,000円（大学進学日本語課程） 95,000円（大学進学準備課程）		
授業料 （施設・教材費含む）	720,000円	1,080,000円	
所在地：〒113-0042 東京都文京区本駒込2-12-12 電話：+81-3-3940-2171 FAX：+81-3-3940-7599		Eメール： info@abk.or.jp info@abk.or.jp	

